國線旅行指南
興隆豐
興隆豐綢緞布莊
H.S.
鐵路總局

二分一厘。
その他の線は五分、三分、二分。

急行料金

	三百五十粁迄	五百粁まで
一等	一圓七角五分	二圓五角
二等	一圓	一圓五角
三等	五角	七角五分

奉天、北平間直通列車による奉天、山海關間の乘客は左の特種急行料金を要する。

一等	乘車粁程に不拘	一圓
二等	同じく	六角
三等	同じく	三角

寢臺料金

	上段	中段	下段
一等	五、〇〇円		七、〇〇円
二等	三、〇〇		四、五〇
三等	一、〇〇	一、五〇円	一、八〇

食堂車食事料金

洋定食	朝 八角	晝、夕 一圓二角
一品料理	二角五分以上	
滿洲料理	一品二角以上	

奉天總站、吉林、圖們には構内食堂がある。

車馬賃
十町未滿、人力車十錢、馬車二十錢、自動車五十錢程度である。

主要地旅館
宿泊料は一泊二食、三圓以上七圓まで位が標準である以下各旅館名稱は「旅館」の文字を省く。

圖們　かめや、富士屋、圖們館、千歳、城崎、佐賀屋、博多屋、鶴城、柳屋、松本屋、福屋。
朝陽川　香月、喜久屋、淸乃家、廣島屋。
龍井　間島、名古屋、丸吉。
延吉　賓來館、武藏屋、正屋、延吉館、宅島、東洋間島、淸林館。
敦化　大正、京都、富士屋、大泊。
吉林　名古屋、日進、東京、近江屋、初音、金千代大阪、松屋。
五常　五常、北滿。
新京　ヤマトホテル、滿洲屋、常盤、西村、富士屋北滿ホテル、白石、新京、梅屋、大丸、滿蒙、國都ホテル。
哈爾濱　北滿、名古屋、亞細亞、東洋、ナショナル、北興、鶴屋、滿洲、佐賀屋、花屋、各ホテル。モデルン、グランドホテル、オリアント(ロシヤ)新世界、大通棧、悅來棧(滿人)
呼蘭　呼蘭ホテル、美代志。
綏化　綏化ホテル、呼海旅館。
海倫　海倫ホテル。
北安　北安ホテル、大同旅館。
克山　鶴屋。
齊齊哈爾　龍江飯店、東洋、藤屋、大丸、日乃出、松屋、昭和、龍沙、天勝、朝日、博來。
昻昻溪　昻榮、滿壽屋、小林。
洮南　南滿、萬國。
鄭家屯　鄭家屯ホテル、櫻、松屋。
通遼　通遼ホテル、大和ホテル、日本館、パインタラ旅館。
山城鎭　多來福、山城鎭。
西安　スター、煤館。
朝陽鎭　福屋、朝陽。
新民　朝日。
大虎山　大和屋、大虎山ホテル。
溝帮子　日の本。
錦縣　協和、入城、敷島、昭和、遼西、萬歳、大同錦州ホテル、奉山ホテル、建國ホテル、富士ホテル。
北票　東洋、大同、北票各ホテル。
朝陽　都、東洋、國際各ホテル。
綏中　大陸亭、綏中館、大和、日乃屋、南滿。
山海關　東洋館、大和館、日本館。
奉天　ヤマトホテル、大星ホテル、奉天ホテル、瀋陽館、玉家、常盤、一力、東亞、武藏屋、日進館、滿洲昭和、平安、松島館、春日、九州、江の島。

左記に於て朝鮮、滿洲の旅行、通關、貨物等に關する御質問竝に事情講演、活動寫眞映寫等の御需めに應じます。

東京鮮滿案内所　丸ビル内　電話丸ノ内　自三一一三一 至三一一三五
大阪鮮滿案内所　東區堺筋安土町　電話本町　一七〇一 一七〇〇

錦縣　遠く虞、夏時代より數千年に亘つて遼西の重鎭として終始してゐる古都である。特に皇軍の熱河肅靜後、熱河地方の開發に伴つて異常な發達を示しつゝあるが、現在建設中の熱河線完成の曉には更に劃期的飛躍を遂げるであらう。人口約七萬六千、遼西のシンボルなる有名な錦州塔を初め附近には錦州八景等の名勝がある。

興城　山海關の防備第一線として遼西に名高い古城である。明の末、勇武行く所敵無き弩爾哈赤(ヌルハチ)も、この興城(當時寧遠城)の攻城戰に兵敗れ、身も傷いて退却した。北に首山を負ひ、南に海を控へ、奉山線四大名勝の一たる祖氏石坊を始め、菊華島、釣魚臺等の名勝に富んでゐる。

興城溫泉　興城の東南一邦里餘、悠然たる平和境である。泉質は無色透明、弱アルカリ性の反應を有し、湧出量は一時間五十一石八斗、滿洲隨一の豐富さである。目下滿洲國線最大の溫泉場として、又、遊覽地として發展せしむべく計畫中である。

山海關　山海關は一名を臨楡と云ひ、又、楡關とも呼ぶ。人口約四萬。萬里の長城は海濱から起つて市街の東北側を過ぎ、巍峨たる山嶺斷崖を攀ぢて遠く雲の彼方に沒する。天下第一關、興亡三千年の歷史を祕むる萬里の長城、唯それだけで山海關は一日の旅程を組むに價する。況んや滿支兩國の國境を扼する要關たるは語るも愚であやう。滿洲事變以來久しく中絕のまゝであつた奉天、北平間直通列車も、昭和九年七月一日から復活された。

壺盧島線

(連山、壺盧島間、一一粁)

壺盧島　舊東三省政權の築港計畫によつて世に喧傳せられた港である。この計畫は呑吐能力一千萬瓲を目標として昭和五年七月第一期工事に着手されたが、滿洲事變によつて中止せられた。昭和九年六月から鐵路總局が錦縣地方出入物資の中繼港として既成施設を利用してゐる。一帶の風光頗る明媚、鐵路總局は此處に直營の簡易ホテルを開設してゐる。

北票線

(錦縣、北票間、一一二粁六)

義縣　縣城は驛東五支里に在り、人口一萬五千、遼西地方に於ける重要都市の一つである。城内には有名な大佛寺、佳福寺あり、共に遼西の一偉觀である。

口北營子　承德方面との往來の關門として事變後次第に繁榮を來し、目下建設中の熱河線は此處を起點としてゐる。

北票　北票線の終點であり、北票炭坑によつても廣く知られてゐる。鐵路總局經營の熱河自動車線はこゝを起點としてゐる。

熱河自動車線

(北票、承德間、三三〇粁。承德、赤峰間、二六五粁。赤峰、朝陽間、一九〇粁)

朝陽　大凌河の左岸に位し、人口二萬三千、貿易年額百二十萬元に達する地方經濟の中心である。遼金時代の建設にかゝると云はれる三座塔は市の南方鳳凰山に在り、今は二座を遺すのみである。

凌源　舊名建昌、土人は塔子溝とも呼ぶ。大凌河の上流に位し、人口八千八百、絹紬を產する。

平泉　一名を八溝と云ひ、瀑河支流の峽谷を帶狀に連ぬる市街である。中央に舊時平泉と稱せられた溫泉の跡がある。人口一萬二千。東に凌源、西に承德、南に山海關、北に赤峰の諸市を控へた交通の要衝である。

承德　淸朝離宮の所在地として風物典雅、情趣に富み、何處となく舊都特有の芳香を漂はしてゐる。殊に離宮を中心に無數の大寺廟を擁し、人工の妙と自然の美との調和する所、結構の壯麗と相俟つて東洋無比の神祕境となつてゐる。人口約二萬。錦縣から二日行程である。

赤峰　帝國領事館所在地。熱河省の略中央に位し、東部内蒙古の經濟的中心地である。人口約三萬、羊毛、羊皮、その他皮革類、甘草等の取引高は東蒙第一と云はれる。

河北線

(溝帮子、河北間、九一粁一)

河北　河北驛は遼河を隔てゝ營口市街の北に在り、人口約千五百、こゝに鐵路總局經營の埠頭がある。滿鐵營口埠頭及び市街とは渡航によつて連絡してゐる。

大鄭線

(大虎山、鄭家屯間、三六七粁一)

通遼　舊名白音太來(バインタラ)は蒙古語で「富める平野」を意味する。蓋し通遼は西遼河流域の沃野に在り、農產物の產出多く、交通の要路に當つて對蒙貿易の一大中心地である。人口約二萬五千、市街の西方七十支里に東蒙隨一と云はれる茂林廟がある。通遼より馬車で一日行程である。

奉吉線

(奉天、吉林間、四四七粁六)

東陵　奉天より約二十粁。淸の太祖の陵墓である。陵は驛南約十八町、天柱山に在り、渾河の淸流を控へて、鬱蒼たる老松の間に黃瓦碧瓦の樓門殿閣が隱見する。蓋し北陵と共に淸朝文化の粹を蒐めた所である例年春夏秋三季の日曜祭日には奉天より臨時列車が運轉され、鐵路總局經營の乘合自動車が每日運行せられてゐる。

撫順城　奉天より約二時間、驛の西南數町に所謂撫順城があるが、今は寂れて城内人口五千に足りない。渾河を挾んで對岸二粁に新市街と千金寨とがある。通常撫順と云はれる炭都はそこである。

元帥林　舊名を高麗營子と云ひ、一代の風雲兒張作霖の墓陵豫定地たりし處、元帥林の名は彼が一時潛稱した大元帥の名から出たものである。昭和四年、工費百五十萬元を以て陵の建設に着手されたが、その完成を見ぬ前に滿洲事變に遭ひ、現在七分通り竣工のまゝ放棄されてゐる。陵は驛南一粁、水龍臥の丘陵上に在り、規摸雄大、壯麗を極めてゐる。

山城鎭　一名を北山城子と云ふ。背後に大平野を控へたると、柳河、通化方面への要路に當る關係上、商業都市として發達し、特に鐵道開通後は東邊道一帶の物資集散市場として雄飛してゐる。人口二萬一千。

梅河口　西安線列車は現在當驛より發著してゐる。

海龍　人口二萬、地方行政の中心地であるが、近來山城鎭、朝陽鎭の二大新興都市に壓され氣味である。

朝陽鎭　奉天、吉林兩省の境界に近く、輝南、濛江、金川等の主要地に通ずる要衝に當り、商工業都市として、鐵道開通後一日千里の勢を以て發展した。人口一萬二千、特產の外に林產、鑛產の發送も多い。

磐石　朝陽鎭、吉林間沿線最大の都邑。人口一萬七千、鐵道開通後、從前公主嶺、新京方面に搬出せられてゐた物資の集散市場として發達した。驛の東南七支里、七個頂子山には良質の石灰石を產出する。

西安線

(沙河、西安間、六七粁二)

東京鮮滿案内所　丸ビル内　電話丸ノ内 自三一三一 至三一三五
大阪鮮滿案内所　東區堺筋安土町　電話本町 一七〇〇 一七〇一
下關鮮滿案内所　下關驛前　電話 一九六二

右の外、國線（滿洲國有鐵道）に關する一切の事項は、奉天、鐵路總局弘報係に御照會下さい。

西安線 （沙河、西安間、六七粁三）

西　安　西安炭鑛によつて最もよく知られてゐるが、背後に肥沃な農耕地を擁して農鑛共に急激な發達を遂げた。人口三萬四千、市街も井然として、附近には名勝舊蹟が多い。

山通自動車線 （山城鎭、通化間、一四五粁）

通　化　通化は興京と共に東邊道奧地の二大重鎭である。人口約二萬、その内朝鮮人約三千、少數の内地人も進出して居り、交通網完成後の發展を期待してよい所である。

京餘自動車線 （新京、扶餘間、一六六粁）

農　安　新京より六九粁、松花江の支流たる伊通河の西岸丘陵上に在り、人口二萬五千、遼時代の黄龍府の故跡である。特産物集散市場。

扶　餘　舊名を伯都訥（ペトナ）と云ひ、遠く扶余國の國都たりし所、人口六萬數千。松花江と嫩江との水運を利して各地に通ずる交通の要關に當り、特産物集散地として、新京、哈爾濱と極めて密接な關係を有してゐる。

安城自動車線 （安東、城子疃間、二一四粁）

安　東　人も知る南滿三港の一。滿鐵安奉線の關門である。

大孤山　風光明朗、日清戰爭頃までは營口と覇を爭ふ海港であつた。人口一萬二千、尙舊時の面目を偲ばせてゐる。

城子疃　關東州内に在り、州境地方の物資集散市場。金福鐵道もこゝを終點としてゐる。人口約二千。

奉撫自動車線 （奉天、撫順間、五六粁）

奉天より東陵を經て渾河の沿岸傳ひに撫順に至るもので沿道の風景には日本内地の農村を偲ばするものがあり、奉撫兩市民のよきドライヴ、ウェイとなつてゐる。

旅行上の注意

服裝及携帶品

奥地深く旅行する人は別として、沿線主要地のみの旅行者には特に携帶を要する程のものは無く、内地の旅行と同様に軽快第一、洋服が萬事に好都合である。夏期は夜間の涼氣に備へて腹卷セーター類を用意すれば尚結構。一般に雨は少いから洋傘よりもレインコートがよく、冬は北滿奥地を除き厚い外套で足りる。服裝の選定は四月中旬から五月下旬まで、九月中旬から十月上旬までは合服、五月下旬から九月上旬まで夏服、十月中旬から四月上旬まで冬服の標準で不自由は無い。

通　貨

滿鐵沿線と日本人間には日本圓貨（朝鮮紙幣を含む）が使用されて居り、一般に滿洲人に對しても圓貨で通用するが、滿洲國有鐵道の運賃料金は國幣建てであり、滿人同志は專ら國幣を收受してゐるから國幣を用意すると便利である。主要都市には到る所兩替店がある。

歸路には滿洲國幣は兩替店で、朝鮮銀行紙幣は大連、釜山は棧橋で、淸津は朝鮮銀行支店で日本銀行兌換券と兩替すればよい。

土産物と稅關

稅關では旅行に必要な手廻品以外には課稅するのを原則としてゐるから、唯徒らに安い、珍らしいで品物を買つて高い土産となる例に陷らぬやう注意せねばならぬ。

稅關檢査地は次の通りである。

（イ）日本から海路北鮮經由（又は之と反對）及び日本から釜山、京城、元山經由（又は之と反對）の場合は、上三峰又は圖們驛で（携帶品は車内、託送手小荷物は驛檢査所）

（ロ）日本から釜山、安東經由（又は反對）の場合は、安東驛（同上）

（ハ）日本から海路大連經由の場合は大連驛で。

（ニ）大連經由海路日本に向ふ場合は船中。

携帶品中特に注意を要するものは

煙　草　朝鮮及び内地に持ち歸るものは喫煙者に限り自家用として一人につき、葉卷五十本、紙卷百本、刻み三十匁の中何れか一種、若くは葉卷二十五本、紙卷五十本程度までは許可される。然し必ず檢證を受けねばならない。

土產品　大體左記のものは何れか一種位、數種の場合は總價格五圓位まで携行を許されてゐるが、これは稅關吏の認定によるものであるから、之を定量として主張する事は出來ない。

砂糖十斤、ロシヤ飴二罐、絹紬一匹、緞子一丈、酒類二本、寶石類一、二箇。

寫眞機類　寫眞機、遠望鏡等を携帶して旅行する場合は圖們、上三峰又は安東の稅關で豫め免稅證明書の交付を受けて歸路の免稅手續をしておかねばならぬ

標　準　時

滿洲の標準時は日本よりも一時間遲れてゐるから、國境通過の際時計の針を戻さねばならぬ。

日滿連絡交通路

一、北鮮經由

日本—海路—淸津（雄基）—圖們（上三峰）

日本—海路—釜山—京城—圖們（上三峰）

二、安東經由

日本—海路—釜山—京城—安東

三、大連經由

日本—海路—大連

四、航　空　路

東京—大阪—福岡—蔚山—京城—平壤—新義洲—大連

從來日滿間の交通路としては大連及び安東經由の二經路のみであつたが、昭和八年四月、敦化、圖們間の鐵道完成によつて三經路となり、更に之に航空路を加へて四經路となつた。而して裏日本より北鮮國境經由の新交通路は日滿交通の最捷交路として絕大の意義を有するものであつて、本經路によれば敦賀、淸津間四十一時間、淸津、新京間二十四時間を要する。（昭和九年九月現在）との所要時間は船車のスピードアップによつて將來著しく短縮せられるであらう。左に參考迄に國線一週旅行日程の一例を掲げる。

日次	地名	發著時	觀光箇所	宿泊地
一	大阪	發朝		
〃	敦賀	著發午後		船中
二	海上			船中
三	淸津	著朝		車中
四	吉林	著午後	吉林見物	吉林
五	同	發朝		

國線旅行指南

京圖線

（新京、圖們間、五二八粁）

圖　們　圖們江を隔て、北鮮南陽に對し、京圖線と北鮮鐵道とを連絡する重要な國際都市である。京圖線の開通以前には戶數僅かに百數十を出でぬ小部落であつたが、鐵道の開通後一年ならずして人口一萬を突破する驚異的發展を遂げた。又現在建設中の圖寧線もこゝを起點として愈々その重要性を加へつゝある。

延　吉　舊名を局子街と云ふ。專ら滿人の政治、經濟的中心地として發達し、龍井と共に間島地方を代表する二大都市である。人口約二萬四千。

龍　井　朝鮮線の中央に位し、延吉、頭道溝、百草溝と共に間島協約に依つて開放せられた商埠地である。同島地方最大の都市にして日本側施設の多くは此處に集中せられてゐる。

敦　化　牡丹江の左岸、四面を山丘に圍まれた盆地の中央に在り、經濟的には古來間島、寧安方面と密接な關係を保持して來た。縣公署所在地、人口約二萬。當市と海林間には鐵路總局經營の乘合自動車が運轉せられてゐる。

吉　林　吉林は滿洲最古の舊都の一であり、吉林省の首府として今も東部滿洲に於ける重鎭である。吉林の名は滿洲語の吉林烏拉より出で、水郷の謂であるが、誠にその名に背かず山紫水明、滿洲の京都と云はれる。近郊には北山、小白山、龍潭山等の名勝がある。

新　京　滿洲國都都。京圖線（滿洲國有鐵道）連京線（南滿洲鐵道）北滿鐵路南部線（滿蘇合辦）の三鐵道の連絡する所、背後には滿洲の穀倉地帶を控へて、政治、交通、經濟の總てに於て中部滿洲の最要地であるが、その發展は滿洲國の將來と共に寧ろ今後にある。此處から吉林へ三時間、圖們へ十七時間半、淸津へ二十四時間、哈爾濱へ六時間、奉天へ四時間、大連へ十時間で達する。

敦海自動車線

（敦化、海林間、二三〇粁）

鏡泊湖　敦化より約四時間半、吉林省の中央に位し、面積百八平方粁、溷水湖にして一名を必爾騰湖と云ひ、湖口に落差三十餘米の瀑布がある。春の野花、夏の霞、秋の紅葉、四季とりどりの眺め麗はしく、特に冬期この銀盤上のドライブに至ては壯快言語に絕する。國立公園候補地。

東京城　牡丹江岸に位し、その昔の渤海國首都として著名である。城は昭和八年五月、歸順部隊の兵變に遇つて殆んど全滅したが、市況は圖寧線の工事以來その繁榮を恢復した。

寧　安　舊名を寧古塔と云ひ、渤海、金時代からの都市である。地方經濟、交通の中心地、人口約三萬五千。

海　林　寧安の北六十支里、北滿鐵路の一驛である。市街は海林河に臨み、特產物、木材の集散地として知られてゐる。人口約六千。

拉濱線

（拉法、濱江間、二七一粁）

新　站　拉法を距る四粁餘。京圖線小姑家と拉法とを結ぶ三角形の頂點に在り、拉濱線の建設によつて發展した新興都市である。人口約八千五百、將來を期待さるゝ重要地である。

五　常　拉濱沿線隨一の都市、人口約四萬五千。滿洲有數の特產物の集散地である。縣公署所在地。

濱北線

（濱江、北安間、三三二粁三）

濱　江　濱江は哈爾濱の別名である。日滿蘇三國の政治、經濟的勢力が最も赤裸々に角逐するところ、東洋有數の歡樂境としても哈爾濱（濱江）の名を知らぬ日本人は無いであらう。人口約四十萬、こゝを中心として四方に延びる交通網は僅々三十年にして哈爾濱を北滿最大の都市たらしめた。觀るべく、聞くべきもの多い。

呼　蘭　遠く金時代から知られた舊都である。人口二萬六千、市街は驛東十數町に在り、滿洲の舊支那式都市として殘された唯一の典型である。西岡公園は林泉の美、北滿に冠たる景勝地として名高い。縣公署所在地。

綏　化　綏化も亦北滿有數の古都である。縣公署所在地、人口約二萬三千。特產市場。

海　倫　舊名を通肯と云ひ、呼海線の終點として急激な繁榮を見せた新興都市、叛將馬占山が假政府を樹立して蟠居した所としても名高い。人口約三萬。縣公署所在地。

通　北　通北は海倫以北最大の都邑である。人口約一萬七千。東は約三十支里にして小興安嶺山脈に入る。附近の沿線はこの興安嶺に續く高原地帶で、展望の雄大さは全滿隨一、特に春夏の候には姬百合、キスゲ、山菖蒲等が紅紫とりどりに咲き亂れ、その典雅にして雄大なる、まさに仙境に遊ぶの感がある。

北　安　海克線の敷設開始までは全くの一寒村に過ぎなかつたが、同線の建設と共に急激に發達し、更に目下建設中の黑河線分岐地と決定されて以來は、北滿の景氣は北安にありとし、陸續として日滿人の移住を見、忽ち人口八千に達する有樣となつた。未だ見るべき施設は無いが、濱北、齊北、黑河三線の接續地として將來の發展を期待せられてゐる。

松花江、黑龍江航路

數年來杜絕してゐた松花江と黑龍江との航路は昭和八年から再開せられ、哈爾濱——黑河間一、四一八粁。黑河——漠河間八二七粁には定期船が就航し、別に哈爾濱——富錦間六一四粁には隔日に定期船を就航せしめてゐる。これは鐵路總局が同業者と共同して哈爾濱航業聯合會を組織し經營に當つてゐるもので、本航路を旅行する邦人の數は逐日增加しつゝある。

哈同自動車線

（哈爾濱、同江間、六三六粁）

三　姓　依蘭縣公署所在地、松花江岸の都市中、最も早くより發達し約三百年の歷史を有する。市街は松花江と牡丹江との合流地に在り、城内人口三萬、埠頭五千特產市場である。又、牡丹江上流の森林地帶に產出する毛皮類の取引も多い。

佳木斯　佳木斯の名は我が武裝移民團の進出によつて最もよく知られてゐる。最近急速な發達を遂げた新開都市で、人口約三萬五千。對岸の蓮江口から鶴立炭鑛まで五十六粁の運炭鐵道がある。

富　錦　縣公署所在地、市街もよく整ひ、砂金市場として著名である。人口約三萬。

同　江　同江は尙人口一千程度の小部落で、密輸と阿片とで有名であるが、松黑兩江の合流地として滿蘇兩國關係の將來に極めて重要な役割を演ずべきものとされてゐる。

齊北線

（齊齊哈爾、北安間、二三〇粁四）

泰　安　鐵道開通と共に一躍人口一萬の大鎭となつた本沿線中屈指の特產物集散市場である。滿洲事變後の反滿軍討伐當時、皇軍の將卒五十九騎が萬斛の恨を呑んで全滅した所謂泰安鎭事件もこのあたりであつた。

寧　年　訥河線の分岐點として交通經濟上重きをなして居る。鎭は驛の西方二十支里に在り、淸朝時代の齊齊哈爾——墨爾根街道の一宿場であつた。人口約三千。

克　山　市街は僅かに三十年の歷史を有するに過ぎないが、本沿線中、齊齊哈爾に次ぐ都市として人口約二

六	新京	滯	在	新京見物	
七	同	發	朝		
〃	哈爾濱	著	午後	哈爾濱見物	哈爾濱
八	同	發	朝		
〃	北安	著	午後		北安
九	同	發	午前	北安見物	
〃	齊齊哈爾	著	午後		齊齊哈爾
一〇	同	發	夜	齊齊哈爾見物	車中
一一	洮南	著	朝	洮南見物	
〃	同	發	午後		車中
一二	奉天	著	朝	奉天見物	奉天
一三	同	發	朝		
〃	山海關	著	午後		山海關
一四	同	發	正午	山海關見物	
〃	撫順	著	夜		撫順
一五	同	發	午前	撫順見物	
〃	大連	著	夜		大連
一六	同	滯	在	大連見物	大連
一七	同	發	朝		
〃	旅順	著	朝	旅順見物	
〃	同	發	午後		
〃	大連	著	午後		大連
一八	同	發	朝		船中
一九	海上				同
二〇	下關	著	朝		

鐵路總局所管路線

鐵路總局の業務は鐵道、港灣、水運、自動車を初め、福祉、教育、衞生、產業助成等の廣汎な事業に亘つてゐる。昭和九年九月一日現在の鐵道は十八線三、七〇八粁六、自動車線九線二、六六七粁、航路三、四二三粁で、その名稱、區間は次の通りである。

一、鐵道線路

名稱	區間	營業粁
奉山線	奉天、山海關間	四一九・六
大鄭線	大虎山、鄭家屯間	三六七・一
河北線	溝帮子、河北間	九一・一
北票線	錦縣・北票間	一一二・六
壺盧島線	連山、壺盧島間	一一・九
奉吉線	奉天・吉林間	四四七・六
西安線	沙河、西安間	六七・三
京圖線	新京、圖們間	五二八・〇
奶子山線	蛟河、奶子山間	一〇・〇
朝開線	朝陽川、開山屯間 開山屯(上三峰ヲ含ム)	六〇・六
拉濱線	拉法、濱江間	二七一・〇
濱北線	濱江、北安間	三三二・三
馬船口線	新松浦、馬船口間	一一・六
齊北線	齊齊哈爾、北安間	二三〇・四
訥河線	寧年、訥河間	八六・八
平齊線	四平街、齊齊哈爾間	五七一・四
洮索線	白城子、懷遠鎭間	八四・三
楡樹線	楡樹屯、昂昂溪間	五・〇
計		三、七〇八・六

二、自動車路線

名稱	區間	營業粁
安城線	安東、城子疃間	二一四・〇
山通線	山城鎭、通化間	一四五・〇
熱河線	北票、承德間 朝陽、赤峯間 承德、赤峯間	三二〇・〇 一九〇・〇 二六五・〇
京餘線	新京、扶餘間	一六六・〇
敦海線	敦化、海林間	二三〇・〇
訥黑線	訥河、黑河間	三三〇・〇
奉撫線	奉天、撫順間	五六・〇
哈同線	哈爾濱、同江間	六三六・〇
興安線	懷遠鎭、索倫間	一一五・〇
計		二、六六七・〇

三、航路

區間	粁
哈爾濱、江橋間	五〇三・〇
嫩江ト松花江トノ合流點ヨリ伯都訥ニ至ル間	七九・〇
哈爾濱、大黑河間	一四一八・〇
大黑河、漠河間	八二七・〇
同江、虎林間	五九六・〇
計	三、四二三・〇

旅客運賃

奉山、河北、北票、壺盧島各線及び大鄭線大虎山、通遼間は一等(一粁につき)四分五厘、二等三分、三等一分五厘。

京圖線、朝開線、奶子山線及び拉濱線新站拉法間は同じく四分六厘、三分二厘、一分八厘。

奉吉線吉林、朝陽鎭間は同じく四分八厘、三分一厘、

萬一千。特産市場として知られ、近代的な商賈も多い。原名を査罕勒屯と云ひ、又、三站の名もあ

公署所在地。

訥河線

(寧年、訥河間、八六粁八)

訥河 縣公署所在地。嫩江の支流たる訥謨爾河の北岸五十支里の平原中に在り、嫩江の本流まで數十支里。市街は新舊の二市より成り、人口約一萬二千。康德年間、露國の南下に備へて建設せられた古都である。

訥黑自動車線

(訥河、黑河間、三三〇粁)

嫩江 縣公署所在地。舊名を墨爾根と云ひ、齊齊哈爾——黑河街道の中央に位してゐる。康德二十九年より同三十八年までは黑龍江將軍の駐在地であつた。

愛琿 愛琿條約の締結地として有名である。市街は南北十町、東西八町、開港場として帝政時代には對露貿易に雄飛してゐたが、今では黑河にその繁榮を奪はれてゐる。

黑河 黑龍江を隔てゝ對岸の蘇領ブラゴウェシチエンスクに對し、滿蘇國境都市として軍事、政治的に極めて重要な土地である。市街は露西亞式の大厦櫛比し、又、江を隔てゝ對岸のブ市を眺望する夏の夜の景觀は筆紙に盡し難い壯麗さである。人口約一萬。

楡樹線

(楡樹屯、昂昂溪間、五粁)

楡樹屯 北滿鐵路への連絡線分岐驛ではあるが、列車は齊齊哈爾を始發するから此處で乘り換へるよりも齊齊哈爾から直接に昂昂溪行きに乘り込む方が便利である。楡樹線昂昂溪驛から北滿鐵路昂昂溪に出るには馬車で約二十分を要する。

昂昂溪 北滿鐵路昂昂溪は人口約一萬二千の都市である。市街は鐵道を中心として砂丘上に建設され、驛の北側は鐵道從業員の社宅街となつて居り、北鐵クラブ、露西亞小學校等があつて純然たる露西亞町をなしてゐる。

平齊線

(四平街、齊齊哈爾間、五七一粁四)

齊齊哈爾 黑龍江省城、人口約八萬。北滿に於ては哈爾濱に次ぐ大都市である。哈爾濱が專ら東淸鐵道敷設後の露國勢力の增大に伴つて建設された都市であるのに反し、齊齊哈爾はこの露國の南下を防止する爲めに建設された城市である。市街は南北に長く、外城と內城とに區分せられてゐる。從來經濟的には哈爾濱の勢力圈內に在つたが、事變後漸次その勢力より脫して今や名實共に黑龍江省の政治經濟的中心地となつた。

三間房 事變後間もなき馬占山討伐戰に於ける最激戰地で、我が多門將軍が中央突破の戰略に大勝を博したのもこのあたりであつた。

大興 舊名を依布氣と云ひ、所謂大興の戰鬪によつて知られた地である。

江橋 江橋も前記三間房、大興と共に滿洲事變によつて著名となつた地であるが、此の地は水陸連絡運輪の接續驛として交通經濟上重要な地である。これは江橋埠頭より嫩江に出で、更に松花江の本流によつて哈爾濱以遠の下流沿岸都市と交通するもので、この水陸連絡は既に北滿に於ける主要運輸經路となつてゐる。江橋に見る嫩江の風光は雄大明朗、夏季には齊齊哈爾から遊覽列車が運轉せられる。

泰來 原名泰來氣。もと蒙古札賚持王旗下の一部落に過ぎなかつたが、民國元年縣治が設かれ、又鐵道開通に依つて特產物の一大集散地となり、沿線有數の都市となつた。

白城子 洮安縣公署所在地。洮索線起點。

洮南 齊齊哈爾と共に西部滿洲を代表する二大都市である。洮兒河の南五支里のところ、方五支里、高さ丈餘の土壁に圍まれた洮南は、何處となく空漠とした感じの町であるが、見渡す限り茫漠たる曠野のまん中に人口五萬の都市を見出すことは確かに一つの驚異である。農產市場としての外に畜產市場としての地方色を持つてゐる。縣公署所在地。

鄭家屯 初め蒙古貿易の中心市場として發達したが、明治四十二年、遼河舟航航路がこゝに延長され、更に大正六年、四鄭鐵道が開通するに及んで異常の發達を遂げた。その後、洮南、通遼の發展に壓されて昔日の繁榮を喪失したが、尙對蒙貿易の重要市場の一である、人口約三萬五千。驛の西方八支里に有名な鄂博山があり、東方約七支里には蒙古七山の一に數へられ博克圖山がある。

四平街 連京線奉天以北に於て新京に次ぐ都市である。人口四萬三千。邦人約六千。平齊線による東部內蒙古への關門として政治、交通上重要な地步を占むる所である。

洮索線

(白城子、懷遠鎭間、八四粁三)

葛根廟 札薩克圖旗王の菩提寺として知らるる葛根廟の所在地。廟は驛の北方約三粁、龍山の麓に在り、寺內に約一千人の僧侶を擁し、規模の大、堂宇の雄、共に東蒙屈指の大寺院である。

懷遠鎭 一名を王爺廟と云ひ、洮兒河の右岸、平野の中央に位し、兩側に興安嶺の一部たる丘陵を負ふてゐる。人口約二千、興安自動車線はこゝを始發する。

興安自動車線

(懷遠鎭、索倫間、一一五粁)

蘇鄂公府 懷遠鎭の西北四十粁にして蘇鄂公府に達する。昭和六年六月、我が中村少佐及び井杉曹長兩氏遭難の地である。

索倫 索倫山の東方、洮兒河とハガ河との合流點に在り、人口約六百の寂寥たる一寒村に過ぎないが、將來鐵道開通の曉を期待されてゐる。

奉山線

(奉天、山海關間、四一九粁六)

奉天 哈爾濱、大連と共に滿洲を代表する三大都市の一である。人口約四十二萬、滿洲最古の都城として舊蹟史話に富み、宮殿、北陵、東陵、喇嘛寺等はその尤なるもの、高さ三丈五尺、厚さ一丈八尺の內城も流石に關外の首府たりし昔を偲ばせる。こゝを中心として、南北に連京線、西に奉山線、東に奉吉線撫順線、安奉線が延び、凡ての道は奉天に通ずるの觀がある。附屬地、城內、商埠地の三地域が夫々の特色を持つて擴がつてゐる事も大奉天の面白さであらう。

新民 縣公署所在地、我が奉天總領事館分館がある。嘗て郭松齡が張作霖に叛旗を飜して一敗地に塗れた地として有名である。

大虎山 人口二千に足らず、城壁も無い大部落であるが、大鄭線の分岐點として交通上の要地である。

溝帮子 河北線分岐點、大虎山、錦縣と共に本線交通上の要衝である。人口約六千、河北と遼西地方との交易は主としてこゝを中繼地として行はれる。驛の北方五十支里には滿洲隨一の稱ある名山醫巫閭山がある。